

科目名	授業時数	教科書名	副教材名
高校3年 文系 生物基礎特講	2	高等学校生物基礎 (第一学習社)	大学入学共通テスト攻略問題集ビーライン 生物基礎 (第一学習社)

## 1. 授業のねらい

受験に対応できる知識を身につける。生物的知識や概念・思考方法を用いて、各項目の問題演習を重点的に行い、高得点を取れるよう実力養成を図る。大学入試共通テストを達成目標とする。

## 2. 授業のすすめ方

- ① 生物基礎の復習および問題演習を教科書の範囲に従って行う。できるだけ多種の問題を解き、多くの問題形式に慣れる。
- ② それぞれの単元の復習を事前に行い、自分の弱点を意識した状態で演習に移る。疑問点等はその時間内に必ず解消し、理解するよう努める。
- ③ 1学期までは主に知識系の問題の対策を行い、2学期からは大学入試共通テスト対策として大学入試共通テスト定番のグラフの読み取り、計算問題対策や実験考察型問題や大学入試共通テストを想定した演習に移る。

## 3. 学習上の留意点

- ① 常に入試を意識して問題演習に取り組むこと。多種多様な問題に挑戦し、内容理解・計算力・考え方や解法を身につける。
- ② 問題集を繰り返し解くこと。授業の進行と別に自分で勉強計画を立て、解ける問題から解答する。特に、自分の弱点と思われる分野の問題については夏季休暇前までに質問して解決することが望ましい。
- ③ 問題集や入試過去問題は、1回解いただけでは学力の定着は図れない。繰り返し解答し、実力養成を図ること。

## 4. 副教材・参考文献

- ① 高1時に使用した教科書や問題集(標準セミナー生物基礎)も活用し、わからない内容がある場合には該当箇所を調べ、知識を身につけるようにする。写真や図をよく見て知識を深める。
- ② 教科書の内容を復習し、問題集、入試過去問題が解けるようにしておくこと。
- ③ 問題集の解答確認の際には解説からも知識を深め、プリント演習についても教科書や問題集を活用する習慣をつける。

## 5. 評価の視点・テスト・課題等

定期考査による学習の到達度(100点×2回)と平常点(提出物・授業態度・実験実習の取組み等)で評価する。

## 6. 定期考査

- ① 定期考査は各回100点満点の問題で、1学期期末、2学期期末の2回実施する。
- ② 定期考査は、試験範囲に関する問題を幅広く出題する。

## 7. 授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	4	第1編 生物と遺伝子 1章 生物の特徴 2章 遺伝子とそのはたらき	①授業中の取り組み（板書・問題演習・解答解説・発言）の評価。 ②小テスト・課題の評価。 ③問題集ノートの提出  以上を主として1学期平常点10点満点に換算し、評価する。	重要語句や生命現象のしくみを理解し、暗記しなければいけないものは系統立てて整理して覚える。  似たような語句は何が違っているかを明確にして、はっきりと区別できるようにする。  具体的な生物名なども、iPadなどを利用し、実物の写真を見るなどしてイメージできるようにして覚える。
		第2編 ヒトのからだの調節 3章 1節 情報の伝達と体内環境の維持		
	5	第2編 ヒトのからだの調節 3章 2節 免疫		
		第3編 4章 植生と遷移 5章 生態系とその保全		
	6	※大学入試共通テスト対策として基礎知識の復習を行う。 【1学期期末考査】		
	7			
	二 学 期	9		
10		大学入試共通テスト定番のグラフの読み取りや計算問題の対策および演習		
11		実験考察型問題の対策および演習		
12		大学入試共通テストを想定した演習  【2学期期末考査】		
三 学 期	1	特別編成授業		
	2			
	3			